いわむろ

発行所　岩室村役場
印刷所　巻・北洋印刷K・K

No.72

岩室・名所・古蹟・ハイキングコースの一部通行禁止について

登山愛好者及び家族連れのハイキングコースが弥彦山有料道路事業工事の為め一部通行禁止になります。

登山、ハイキング出来るコース

一、間瀬～牧野～多宝山～弥彦山　但し一部工事中の箇所がありますので落石等に注意して下さい

一、間瀬～白岩～銅山蹟迄

一、間瀬～白岩～獅ケ鼻～野積

一、岩室～神明社～夫婦松～松岳山

一、岩室～大平山～天神山

左のコースは自昭和四十三年四月一日より至昭和四十五年三月三十一日まで通行禁止致します

弥彦山～銅山蹟コース

予算編成にあたって

村長　横山喜八郎

43年度一般会計予算
総額1億83,147千円、前年対比300万円増

私が村長就任以来、初めて手掛けた予算編成であり然も、短期間の中にまとめ上げなければならない関係から、充分意のつくせなかった点もありますが、しかし基本的なものについては出来るだけの検討を加え、所管課長の意見も徴して作成いたしました。だが皆さんも概ね御承知のように、村の財政は佐藤村政時代から既に急迫を告げ、赤字繰越もやむを得ないという実情にあったものであります。

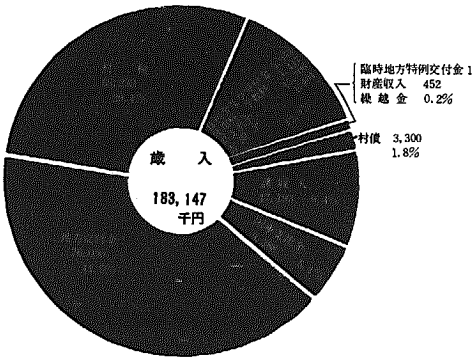
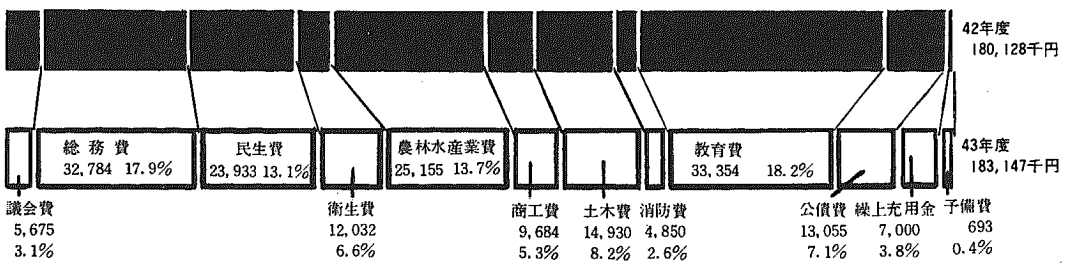
案にたがわず、昭和四十二年度における赤字は概ね七百万円が推定されるのであります。のみならず債務負担行為によって実施いたしました。岩室小学校の統合に伴う校舎の増築費八百九十万円、更に又県道の改良舗装事業費の先喰い経費二百十三万円、広域行政として実施いたしておりますじんがい処理場及び葬祭施設の継続事業費一千百万円の負担などが、既に余儀なくされている現状となっているのであります。

従ってこれ等の事業費を先ず優先的に計上し、収支の状況を算定して見たのでありますが、遺憾ながらその収支は、大きなアンバランスを生ずるのであります。為に此の調整に苦慮いたしたわけでありますが、最終的にはやむを得ず、じんがい処理施設及び葬祭施設に対する負担金に於て六百万円、県道改良舗装事業費の負担金を始めとする土木関係で五百万円を先ず削減、更に各課より要求されていた事務機械の購入費や維持費等の一般経常的な面に於ても不急と思われる経費の削減と相俟って、実務研修以外の研修旅行費の差止めを図り、ようやく一億八千三百万円の予算を編成いたした次第でありますが尚この数字の中に含まれております繰上充用金七百万円、つまり昭和四十二年度の赤字については、更にそのまま翌年度に繰越すことを承知の上で編成いたしました。従ってこの才入面に於ては税収で二百万円、地方交付税で三百万円、競輪収入に於て二百万円をそれぞれ水増しをいたしているのであります。此の点誠に村民皆様の御期待に添え得なかったような実情ではありますが、然し此れも統合中学校建設という大きな事業と更に、県道改修舗装を始めとする各種土木事業費や、広域行政に於ける先行投資をいたした結果であって特に本村の財政が、類似町村に比較して貧困であるということでは決してないということを御理解いただけると思うのであります。

従って私は私なりの施策は既に公約してはありますが、今の財政事情から予算面に於て特に、目新しいものはありません。しかし私は、さしづめ組まれた予算の使途に当っては出来るだけきめ細かく、合理的、効率的に執行することは勿論のこと、特にこの間に於ては村民各位の御意見を承り、私の施策の糧といたしたいと考えております。

従って本年度予算については、特にその横山村政の特色とてなく、継続的な、ひも付の事業しかおり込めなかったというのが実情であります。しかし私は決してこれ等の事態に依って委縮するものではありません。今後、我が岩室村としてやらねばならないものについては、断固勇気と決断をもって対処し、又機会とあらば如何なる労苦をも甚え忍び、最善の努力を傾注し、今後の我が岩室村の発展のため且つまた住民サービスを基本とした豊かな郷土、岩室村の限りない前進のため自からを奮い立たせるであろうと申し上げる次第でございます。どうか村民の皆様の御協力によりまして、近代農業行政による増産の確立、弥彦山スカイラインの完成と共に飛躍的な、誰からも親しめる観光岩室の開発、そして常に明朗と豊かな岩室の建設等、村の行政が極めて円滑の中に常に前進的な夢をもった中に運営されてまいりますことを心から希望いたしまして、新年度予算の編成方針にかえさせていただきます。

歳入当初予算表



歳出当初予算表